

おおいたアクティブシニア養成講座 テーマ別講座(C)地域貢献・世代交流 その1

令和2年度「おおいたアクティブシニア養成講座」の3つめのテーマ別講座C:地域貢献・世代交流①が9月28日(月)に県総合社会福祉会館 4階大ホールで行われました。

「おおいたアクティブシニア養成講座」では1回につき2講座ずつ、カリキュラムを行っています。

今回最初の講義は「地域の中のこども食堂(地域世代交流拠点づくり)」、講師は大分県社会福祉協議会 地域福祉部 藤田 亘宏部長、続いて『必要とされる喜び』子ども食堂ボランティアは元気の源、つる子ども食堂・別保子ども食堂 松本 茂子代表です。



「子ども食堂」という言葉は、多くの方が耳にしたことがあると思います。けれども最初は子どもの為の貧困・孤食対策を表していたこの言葉が、もっと幅広い意味で使われるようになってきています。

今では子どもだけでなく大人も参加可能な「多世代交流拠点」として進化し、地域の居場所となりつつあります。年々広がりを見せる「子ども食堂」の目的やメリット、これからの課題などを、実際の

現場で活動される講師の方々から学びました。

換気・休憩を挟んで2つめの講座テーマは「あなたの小さな支えが あったかい 地域を築く!」、講師は大分市 真宗大谷派 寶積山 浄慶寺 豊岡光闡住職です。『ふるさとの達人』でもある豊岡住職は、福祉に関わった経験を活かして、普段からいろいろな場所で福祉講話をされています。今回もユーモアを交え、時には受講生を笑わせながら、地元で実際にあった出来事を元にした講話をしていただきました。なお、来週の講座で『ふるさとの達人』が講義をする予定です。

